

第 18 週

質問 46. 「天にのぼり」という言葉の意味は何ですか。

答え I キリストが弟子たちの目の前で地上から天に上げられ、^{0 1}将来、生きて
いる者と死んだ者とを裁くために、^{0 2}再び来られる時まで、私たちの有益のため
に、^{0 3}そこに続けていてくださるということです。

① キリストは復活後 40 日の間、地上におられ、弟子たちと交際をなさりながら、神の国について対話をなさいました。従ってキリストの復活は、確実な証拠などを持っています（使徒 1:2-3）。キリストは地上で 40 日間過ごしながら、ベタニヤ近郊の山で天に上られました。密かに昇天をなさったのではなく、弟子たちが見ている前で上られて栄光を現しました（使徒 1:10-11）。

ここで天とは、私たちが見る天よりも遥かに上にある所で（エペソ 4:10）、第三の天、あるいは、楽園とも呼びます（Ⅱコリント 12:2, 4）。また、神の天（詩 8:3）、天の天（Ⅰ列王 8:27）とも呼んだりもします。イエスさまは父の家だと呼ばれ（ヨハネ 14:2）、父の御座がある所です（詩 11:4）。イエスさまが昇天されて父の御座のそばに座しておられる所であり（コロサイ 3:1）、ステパノは、天が開かれてイエスさまが神の右に立っておられるのを見ました（使徒 7:56）。

01 マルコ 16:19、ルカ 24:50-51、使徒 1:9-11.

02 マタイ 24:30、使徒 1:11.

03 ロマ 8:34、ヘブル 4:14, 7:23-25, 9:24.

② キリストが天に昇られたことを、父なる神が彼を取られたことと語っています（マルコ 16:19、ルカ 24:51）。イエスの昇天は、父の右手によることです（使徒 2:33）。ユダヤ人たちはイエスを神の子と認めないのですが、キリストの昇天こそ、イエスさまが神の子であることを確証するのです。この事件は、父に任された任務を、キリストが完全に完了なされた労苦に対する賞であることを証しすることです（ヨハネ 17:4-5）。

③ キリストが天に上げられたことの有益は、約束なされた聖霊を、父からその弟子たちに遣わしたことです（ヨハネ 15:26、使徒 2:2）。聖霊をお注ぎになったことで、キリストが行われた事々を適用なさいます。聖霊によって選ばれた罪人が霊的に目覚められ、キリストに屈服するようになります。そして、その民に聖霊を与えることで、彼らが霊的な生活を生きるように助けます。また、教会の使役のために聖霊の賜物を与えることで、聖徒たちが立てられるようになります。

キリストが天に上られたことの、また、ほかの有益は、私たちの関心を天に置くようにさせることです（ヨハネ 14:3、16:7）。私たちは今、この地で生きているけど、この生活は一時的であり、永遠ではないのです。それゆえ、キリストがおられる天に望みを置くようにさせ、この生涯が終わった後に住むようになる所を、慕い求めるようにするのです。

④ キリストは天に上られて、そこで永遠に留まっておるのではなく、最後の日に再び来られて、生きている者と死んでいる者とを審判します。悪人たちはキリストが再び来られるのが怖いでしょう（マタイ 24:3）。しかし、信仰の民には、キリストの再び来られることが慰めになるでしょう（ヨハネ 16:3）。

質問 47. ところが、キリストは、この世の終わりまで、私たちと共におられると、御自身が約束なさったのではないですか。^{0 1}

答え I キリストは、まことの神であり、まことの人間です。人性においては、今この地にはおられません。^{0 2}しかし、その神性と威厳と恩恵と聖霊においては、その方は私たちから、ただ一瞬も離れてはおられません。^{0 3}

質問 48. キリストが、神性においては私たちと共におられ、人性においては共におられないのなら、キリストのこの二つの本性は、互いに分離しているということですか。

答え I 決してそうではありません。その神性は無限であり、何処にでもおられるので、^{0 4}キリストの神性は、その方が持っていた、人性の領域を超えておられたことが明確です。しかし人格的に、その人性と結合しているのです。^{0 5}

01 マタイ 28:20.

02 マタイ 26:11、ヨハネ 16:28, 17:11、使徒 3:19-21. ヘブル 8:4.

03 マタイ 28:18-20、ヨハネ 14:16-19, 16:13.

04 エレミヤ 23:23-24, 使徒 7:48-49.

05 ヨハネ 1:14. 3:13、コロサイ 2:9

① キリストが昇天なさってことで、それ以上、肉体のキリストを見ることはできないのですが、どのようにして、キリストが私たちと世の終わりまで共にすることができるのかと質問があり得ます。キリストは、まことの神でありながら、人間でした。キリストは、この地におられた時にも、制限を受けませんでした。キリストの人性と関連して、その方は、これ以上この地に人間としてはおられません。もし人性が、すべての所に臨在するのなら、死んだ後に、栄光の体に変化される必要もなかったでしょう。

キリストは神として、威厳と恩恵とに関連して、私たちから決して、一瞬も不在していません。神の力と栄光とを私たちのうちに現し、私たちにキリストを知るように、愛するようになさいます。その方を通して私たちの信仰はより強化されます（Iヨハネ5:4）。まして、私たちが相変わらず毎日の弱さの中にいるけれど、キリストは私たちを捕らえてくださるので、その愛を確信するようになります（ヨハネ14:23）。その霊を通して、ご自身と交わりができるように、また私たちを慰めます（ガラテヤ4:6、IIコリント3:18）。

② キリストが昇天なさったのにも関わらず、キリストがこの地上におられた時と同じように、その神性と人性は分離されません。キリストの昇天によって、その人性の居住だけが変更されただけです（使徒3:21）。従ってキリストは、その人性の実際において常に私たちと共におられます。しかし、その人間の形態において、どこでも発散させることと想像してはなりません。なぜなら、その方の神性は、すべての所におられ、人性は天におられるが、神性と人性が結合されているからです。

③ キリストは昇天なさった後に聖霊を遣わすと約束しました。そしてそれが、私たちに一層有益なことだと告げられました（ヨハネ16:7）。その方は、約束なさった通り、聖徒たちに聖霊をお注ぎになりました。聖霊を通して、私たちに支配し、導かれます。そしてキリストは、すべてのものを満たすと仰せました（エペソ4:10）。つまり、その教会の不足のすべてを、恵みの賜物として満たしてお

られます。従ってキリストは、私たちに一瞬も離れてはおられません。

④ これは、キリストの復活と昇天以降、キリストの神性と人性の関係についての質問です。この質問について、ルター教会と、改革派教会の解釈が異なります。ルター教会は、キリストが神の右に座しておられることは、そのすべての神性の属性が人性と交わりをすることとして解釈します。これは、ルター教会が堅持する、主の聖餐について共在説と関連を持っています。つまり、神の右側にすべてが臨在するということ、その人性も神の右側におられるから、キリストの人性もすべての所に臨在なさるということです。しかしキリストが、神の右におられるということは、その王の職務を遂行されていることを意味します。

質問 49. キリストに昇天は、私たちにどのような有益を与えますか。

答え I 第一、キリストは天において、御父の前で私たちの仲保者となられ⁰¹、第二、私たちの肉体が天に住まわることの確実な保証となります。その方は、私たちの頭として私たちをキリストの肢体にし、ご自身のもとに取られるでしょう。⁰² 第三、ご自分の聖霊を私たちに遣わして、⁰³ 私たちがその聖霊の力によって、この地のことではなく、キリストが父の御座の右に座しておられる、天のことを切に探すようにさせます。⁰⁴

01 ロマ 8:34、1 ヨハネ 2:1.

02 ヨハネ 14:2, 17:24、エペソ 2:4-6.

03 ヨハネ 14:16、使徒 2:35、II コリント 1:21-22, 5:5.

04 コロサイ 3:1-4.

① キリストは父の御前で、私たちの仲保者となります。従ってキリストは必ず昇天なさることでした（ヘブル 8:1-4、ロマ 8:34）。キリストは地上におられた時、ご自身の民のために祈られたように（ヨハネ 17 章）天においても執り成しておられます。キリストの仲保を通して私たちの祈りが父に聞かれます（ヨハネ 14:13）。キリストの仲保は、法廷で、私たちのために弁護なさると同じ有益を私たちに与えます（I ヨハネ 2:1）。

② キリストの昇天によって、私たちの肉体もその肢体として天にいることを確信するようになります。キリストが私たちを天に連れて行かれるでしょう。まるで私たちの保証としてご自分を父に捧げたように、キリストはそれを約束なさいました（ヨハネ 14:2, 3, 17:24）。キリストが天におられるのは、即ち、この約束の保証です。パウロはそれを確信しました（エペソ 2:6）。さらに進んで私たちは、自分の霊魂だけでなく、栄化に変えられる肉体を持ち、永遠の救いに参与するようになることを確信します。

③ 昇天なさったキリストは、誓願の霊として、聖霊を私たちに遣わしました（ヨハネ 16:7）。送ってくださった聖霊の証拠によって私たちは、神の子供であることを確信するようになります（ロマ 8:16-17）。聖霊は私たちをキリストに向かわせ、霊的なことを心に置くように助けます（コロサイ 3:1, 2、マタイ 6:21）。ますます聖霊は、天のみ国に関することを、切に探し求めるように働きます（マタイ 11:12）。

聖霊によって私たちは正直な生活を生きるようになり（詩 143:10）、この地において巡礼者として生きるようになります（詩 39:12）。それで、この地のものを探し求めるより、天のものを探し求めるようにさせます。私たちの言語は、天のものと霊的なもので一杯になるようにさせ（ピリピ 3:20）、肉的なものを探し求める人とは、明確に区別された生活を生きるようになります（ガラテヤ 6:8）。